

保育型発達支援というきざず中山教室
令和2年度 事業所自己評価結果の公表

公表：令和3年3月31日
アンケート期間：令和3年3月1日～令和3年3月25日

保護者等からの事業所評価の集計結果

保護者等数(児童数)10名

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースは十分に確保されていますか。	8	2		
	2 職員の配置数や専門性は適切ですか。	8			2
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっていますか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていますか。	9	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていますか。	9	1		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていますか。	9			1
	6 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていますか。	9			1
	7 個別支援計画に沿った支援が行われていますか。	10			
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されていますか。	10			
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がありますか。	2	1	5	2

事業所における自己評価結果および改善内容・改善目標

回答職員数7名

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		・可動式のパーテーションを臨機応変に利用し環境を整えている。	
	2 職員の配置数は適切である	7		・活動内容と子供たちの特性を考慮して、職員の数配置や子供たちのグループ分けを柔軟におこなっている。	・窓が少ない環境なので換気が難しい。空気清浄機を清潔に保ち有効に活用するよう工夫していきたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		・窓が少なく換気がしにくい環境だが、朝と午後と換気。 ・伝達事項や配慮の変更点は日誌に記載し、休みの職員にも共有できるようにしている。環境設定は子どもの状況に合わせて随時変更、更新している。	・エアコン、空気清浄機の掃除がやや後回しになりがちなので定期的にチェックが必要。 ・改善については優先順位が低い改善項ではまだ手をつけられていないものがあるため、期限の設定や担当を決めるなどして対応していきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		・子どもの刺激を少なくするためにパーテーションなど使い落ち着いて過ごせる環境をつくっている。	
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			・月1回の職員会議だけでは、意見交換がやや足りないと感じる。特に15時に退勤する職員との支援の振り返りができていないことがある(現状時間が話す足りない)もう少し少く時間を設け、その日のうちに支援について感じたこと、疑問に思ったことなど共有していきたい。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		・毎日の日誌振り返りの記入では、ヒヤリハット事故報告、保護者対応など詳細を記入して共有している。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		・個別の支援リストを作成し、全体会議で内容の検討と振り返りを行っている。	・支援に関しては日々多くの検討課題が出てくるため、もう少し全体で話し合える時間があるとよい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		・スタッフ全体の研修(昨年度はコロナ禍でできなかった)

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	7			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		
	11 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		・業務終了時間が遅い振り返りが出来ない職員もいる為、毎日の振り返りを社内アプリで共有している。 ・職員会議の中で「やってみよう」の項目について職員間で話し合い、一人ひとりに合わせた支援を考え共有している。日々の日誌の振り返りで、変更になった点など詳細を日誌に記入し全体で共有できるようにしている。	・アセスメントツールの用紙がありながら、うまく活用できていないと反省。今後定期的に一人ひとりのアセスメントをしっかり共有していきたい。
	12 個別支援計画に沿った支援が行われている	7			・日常的な支援については常に振り返りや改善を行っているが、個別支援計画の内容で、一部実施が十分でないものもあった。期中盤など振り返るタイミングを決めておき、期内で修正を図っていくるとよい。
	13 活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		・支援計画を策定するなかで記録の取り方も振り返り、支援に反映できるように内容の充実を図っている。	
	15 子ども達の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	7		・社内アプリの活用により次の日の日誌や振り返りを共有している。	
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	19 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	1		
	20 障害児相談支援事業所のサービスマン会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1		
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1		
	22 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1		
	23 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	・ベアレントトレーニングの支援プログラムは本格化していないが、面談時にベアレントトレーニングがあることなど保護者の必要度によって知らせている。日々の支援にも取り入れ、不適切な行動には反応せず、適切な行動に注目することで適切な関わりを増やしているなど伝えられている。	・コロナウイルス感染症もあり、保育園や幼稚園との交流はもていないが、今後感染症が落ち着いたら取り入れていきたい。
	24 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4		
	25 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	6		
	26 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		7		
	27 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ベアレントトレーニング等)の支援を行っている	2	5		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか。	10			
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	10			
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	9			1
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか。	8	1		1
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等、保護者同士の連携が支援されていますか。		1	5	4
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			2
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか。	9			1
	17 定期的におたよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果等を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9			1
18 個人情報の取り扱いに十分注意されていますか。	9			1	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	29 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			<p>コロナウイルスで、保護者様とあまり長い時間お話しができないが、保護者様はもっとまとまった時間、話を増える機会が増えることを望んでいるのではないかと感じている。ケースによっては面談もできることを伝えているが周知しきれていない部分がある。個別面談などで伝えていきたい。</p>
	30 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	7			
	31 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	32 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	33 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		
	34 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	35 定期的におたよりやホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			
	36 個人情報の取扱いに十分注意している	7			
37 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
38 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7			

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
非常時等の対応	19 防犯対策、感染症予防、非常災害時対応方法について、保護者に周知・説明されていますか。	7	1		2
	20 新型コロナウイルス感染症対策は徹底されていましたか。また、緊急事態宣言発令時の対応について等、不安はありませんでしたか。	7	1		2
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	7	1		2

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	39 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	2		<p>・マニュアルを完成させ、避難難が必要な物を揃える。 ・コロナ感染症についてなど、管理者の用紙を保管。他職員への周知が足りていなかった。実際に火事が起きた時などの、通報の仕方などの用紙が掲示されていないなど準備が足りていない。</p>
	40 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		・定期的に様々な災害を想定した避難訓練を行い課題や反省点を共有している。	
	41 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、新しい生活様式に対応した活動内容・支援方法について日々工夫しながら取り組んでいる	7		・洪水、地震、火事、不審者など様々な災害を想定した訓練を毎月行っている。また年に1回、広域避難場所の小学校へ歩いて非難する練習をし、実際の災害に対応できるようにしている。	
	42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		・職員にも設定を知らせない防災訓練を行い、想定外の時の対応など検討する機会を持っている。	
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7				
45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	4			

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	1		1
	23 事業所の支援に満足していますか。	10			

この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における分析・協議・改善案の検討結果

事業所内での分析	
【保護者様評価・職員自己評価の共通点】	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳や登後園でこどもの様子を伝えあっている(情報共有) 保護者会、参観の場がなかった 活動プログラムは固定化されないよう工夫していた
【保護者様評価・職員自己評価の相違点】	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が見えていない部分(棚の上や道具の整理整頓など)の環境整備が不十分 環境の面では、職員の配置数や専門性については、保護者にはあまり伝わっていない

分析・検討してみた...	
事業所の強み	<ul style="list-style-type: none"> 長時間の療育 様々な活動プログラムを取り入れている 療育と集団生活が経験できる 個別支援計画の面談のほか、必要に応じて個別面談を行いながら、子どもの支援について保護者と共有 写真アプリ、SNS、お便りで活動の様子を伝えている
事業所の改善点	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会、父母会の開催(コロナできていなかった) 近隣の幼稚園や保育園との交流 動画配信などで、活動の様子をもっと保護者に伝えていく 緊急時(災害、感染症)に備え備品やマニュアルの見直し検討など行う 室内の環境整備の徹底(玩具や棚などの点検、エアコン空気清浄機の清掃など) 幼稚園や保育園等との交流

事業所の改善への取り組み	
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートにて、父母会、保護者会を開催する ・リモートにて、活動の様子を伝えていく(運動遊び、ゲームなど様々な活動) ・近隣の幼稚園や保育園と交流の機会が持てるよう、HPやSNSで募集をする。(感染症の状況による) ・研修を通して、内容など(ペアレントトレーニング)HPやSNSで伝え、職員の専門性向上のためにやっていることを伝えていく ・ペアレントトレーニングを必要としている保護者、子どもに研修を通して支援を行う ・非常時の備えを徹底していく(備品、環境整備など)
感想	<p>～自己評価を行なったの事業所としての感想など～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意見や事業所が周知しきれていない部分を知ることができ、その項目について考えることができた。今後は改善に向けて迅速に行動していきたい ・日々の連絡帳や降園時、お便り、SNSなどで子どもの様子を伝えているが、参観がなくて残念に感じている声が上がっていた。リモート環境をうまく使用し、動画配信や保護者会など行っていきたい ・職員の事業所評価では環境面で共通の認識が多かった。(より清潔な環境や工夫が必要)あたためて、改善点をしっかりと意識できた。迅速に対応していきたい(管理者 石垣 菜緒子)